

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	まちづくり論	
科目基礎情報							
科目番号	0010			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	複合工学専攻（建築学コース）			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	「集住の知恵 美しく住むかたち」日本建築学会編 技報堂						
担当教員	安高 尚毅						
到達目標							
人が集まって住むための形作られた各種のシステムについて説明できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	人が集まって住むための形作られた各種のシステムについて説明できる			人が集まって住むための形作られた各種のシステムについて理解が不十分。		人が集まって住むための形作られた各種のシステムについて説明できない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ② JABEE (A)							
教育方法等							
概要	人が集まって住むための形作られた各種のシステムについて説明できる						
授業の進め方・方法	教科書による						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1.授業の進め方ガイダンス		現代社会における都市計画の課題について説明できる。		
		2週	2.立地を読み解く、環境に適応する①		都市の形成について説明できる。		
		3週	3.立地を読み解く、環境に適応する②		都市の形成について説明できる。		
		4週	立地を読み解く、環境に適応する③		都市の形成について説明できる。		
		5週	自然とすみあう、自然を活用する①		都市環境を総合的に計画する手法を理解している。		
		6週	自然とすみあう、自然を活用する②		都市環境を総合的に計画する手法を理解している。		
		7週	自然とすみあう、自然を活用する③		都市環境を総合的に計画する手法を理解している。		
		8週	自然とすみあう、自然を活用する④		都市環境を総合的に計画する手法を理解している。		
	4thQ	9週	集まって住む形（人・人）①		住民参加・協働のまちづくりの体制について理解している		
		10週	集まって住む形（人・人）②		住民参加・協働のまちづくりの体制について理解している		
		11週	集まって住む形（人・人）③		住民参加・協働のまちづくりの体制について理解している		
		12週	集まって住む形（人・神）①		市街地を開発する地域コミュニティ等による仕組みについて理解している。		
		13週	集まって住む形（人・神）②		市街地を開発する地域コミュニティ等による仕組みについて理解している。		
		14週	集まって住む形（人・神）③		市街地を開発する地域コミュニティ等による仕組みについて理解している。		
		15週	まとめ		現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。	5		
				近代の都市計画論について説明できる。	2		
				現代にいたる都市計画論について説明できる。	5		
				市街地形成と都市交通のあり方について説明できる。	5		
				街路計画の手法と理念について説明できる。	5		
				日本の土地利用計画の仕組みについて説明できる。	5	後14	
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。	5	後15	
				市街地を開発する地域コミュニティ等による仕組みについて理解している。	5	後15	
				地区計画制度について説明できる。	5		
				建築協定・緑化協定などの住民参加・協働のまちづくりの体制について説明できる。	5	後8	
				都市の形成について説明できる。	5	後2,後15	

				都市環境を総合的に計画する手法を理解している。	5	後4,後15
				都市と農村の計画について説明できる。	2	
				地域計画調査手法について説明できる。	5	
				地域計画整備の実例について説明できる。	5	
				景観計画と事例について説明できる。	2	
				都市景観計画に関する法制度について説明できる。	2	
				地域資源（たとえば、指定・登録文化財、伝建制度・地区、観光資源、特産物など）について説明できる。	2	
				地域資源の保存・再生（たとえば、リノベーション、コンバージョンなど）手法について理解している。	2	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	40	0	60	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	40	0	60	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0